

南洲墓地(西郷隆盛の墓)



西南戦争で命を落とした西郷軍2,023人が葬られる墓地。墓地からは桜島の雄大な姿を望むことができ、薩摩を愛した西郷どんたちを称えるかのようです。

名勝 仙巖園

薩摩藩主である島津家の別邸。西郷どんは第11代藩主・島津斉彬に特に目をかけられており、強い信頼関係にありました。仙巖園は周りの景色をとりこんだ借景の大名庭園として知られています。御殿からは、目の前に広がる錦江湾や桜島を眺めることができます。江戸時代には目の前の道路はなく、錫門(写真上)の手前まで海だったそうです。

明治時代に新たに建てられた正門の前には、水天瀨発電所記念碑(写真下)が設置されています。島津家が山ヶ野金山での採掘にあたり作った発電所で、昭和58年まで九州電力で使用されていました。その後、九州電力のご好意により、建物の一部を記念碑として譲り受けたものです。



名勝
仙巖園

西郷隆盛像(写真左)…東京・上野にある西郷どんの銅像は狩りに入る前のラフな浴衣姿。それに対して鹿児島島の銅像は、日本初の陸軍大将であった西郷どんの凛々しい制服姿を見ることができます。

大久保利通像(写真右)…鹿児島島中央駅からほど近い高見橋の袂には、大久保利通の銅像も。ポマードで髪を整え、フロックコートをなびかせた堂々とした姿で佇んでいます。

西郷隆盛と大久保利通は同じ郷中の出身でした。幼い頃から兄弟のように育った幼なじみで、お互いが辛い境遇のときは助け合い、何も言わなくてもすぐに相手のことが分かるほどの関係だったと言われています。



〈参考〉鹿児島市明治維新150年カウントダウン事業ホームページ <http://www.meijiishin150countdown.com>



グランガーデン鹿児島
ご入居
原口さまご夫妻

歴史がお好きな原口さま。お天気がいい日は、自転車でもちの散歩をされています。幼い頃から鹿児島島のまちで過ごされていたため、散歩中もたくさんさんの豆知識を教えてくださいました。

大河ドラマ「西郷どん」で話題をあつめる鹿児島。大久保利通、木戸孝允など、明治維新の三傑といわれる人物も輩出しています。さらに世界文化遺産として、薩摩藩が誇る工場群跡、藩主である島津家に関わる歴史的建造物など、まちのあちこちに数多くの歴史遺産が残っています。今回は、まちの散策が大好きというグランガーデン鹿児島島にご入居の原口さまご夫妻に、いま逃せない歴史スポットをご紹介します。

「入居者さまと歩く」
私のまちの
お散歩自慢

西郷隆盛誕生の地

鹿児島中央駅からすぐの加治屋町は、西郷どんが生まれ育った場所。薩摩藩ならではの郷中教育は1日中おなじ郷中の仲間同士で兄弟のように接することで、強い絆を生み出す教育。そこで仲間とともに文武に励んだそうです。



薩摩義士碑(さつまぎしひ)



「西郷隆盛終焉の地」から歩いてすぐのところにある供養墓碑。江戸時代、徳川幕府が薩摩藩に命じた美濃川の川の改修工事・宝暦治水は非常に難しい工事でした。約1,000人を動員し、工費40万両(約10億円以上)を費やして、1年3ヶ月かけて完了しました。このときに犠牲になった88名と、その責任をとって自刃した薩摩藩家老・平田靱負を供養しています。

西郷隆盛洞窟

洞窟は間口3m
奥行き4m
入り口の高さ2.5mの
狭い空間



西郷どんは西南戦争でその最期をむかえます。城山の中腹にあるこの洞窟こそが、最後の5日間を過ごしたと伝えられる場所です。西郷どんは最後までこの洞窟で西郷軍の指揮をとっていたそうです。